

築 60 年以上の学校の保守管理と建て替え計画について

管理部 管理室 施設課、学事課

【築 60 年以上の学校の状況について_令和 6 年(2024 年)時点】

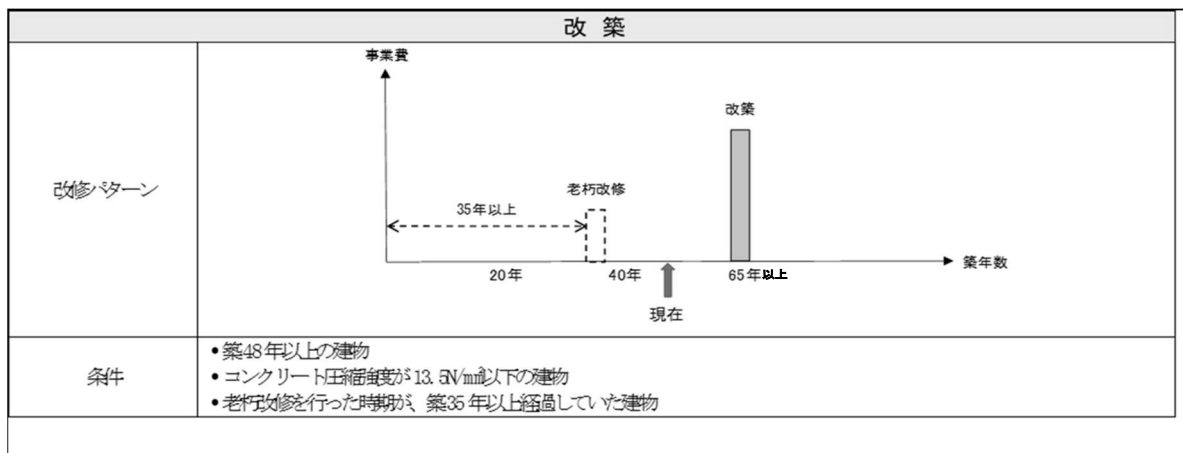
令和 6 年(2024 年)時点で、築 60 年以上の学校は、以下の表 1 のとおり。

表 1

学校名	建物名	建築年	築年数	老朽改修実年	老朽改修から 経過年数
西山小学校	屋内運動場棟	昭和 35 年 (1960 年)	64 年	—	—
宝塚中学校	北特別教室棟	昭和 36 年 (1961 年)	63 年	平成 4 年 (1992 年)	32 年
西谷中学校	特別教室棟、 技術棟	昭和 36 年 (1961 年)	63 年	平成 30 年 (2018 年)	6 年
宝梅中学校	管理・普通教 室棟 1	昭和 36 年 (1961 年)	63 年	平成 21 年 (2009 年)	15 年
良元小学校	西棟、東棟、 エレベーター棟	昭和 37 年 (1962 年)	62 年	平成 3 年 (1991 年)	33 年
宝梅中学校	管理・普通教 室棟 2	昭和 38 年 (1963 年)	62 年	平成 21 年 (2009 年)	15 年
宝梅中学校	屋内運動場棟	昭和 39 年 (1964 年)	61 年	平成 25 年 (2013 年)	11 年

(次ページへ)

【保守管理と建て替えについて】



令和3年(2021年)計画策定の学校施設長寿命化計画上、計画策定時点で築48年以上の建物については、長寿命化改修を実施した場合、今後30年以上使用する必要があるため、長寿命化改修後の改築の目安である築80年を大きく超えることになるため、改修パターンを改築としている。

改築については、最も築年数の古い西山小学校の屋内運動場棟で基本設計を令和5年度から令和6年度の2ヶ年で実施し、令和6年度から令和7年度に実施設計を行い、令和8年度から令和9年度で新築工事を、令和10年度に解体工事を行う予定となっている。

その他の学校の建て替えについては、市立学校園を適正な規模で適正に配置する必要があるため、複雑化している小中学校の通学区域の整合や、小中一貫校への取組の進捗と調整を図りつつ今後の施設整備方針の決定をもって、改築実施の判断を行う。

今後の施設整備方針が決定するまでの保守管理については、日常点検や法定点検で状況を見ながら施設修繕や部分改修工事を行い、学校教育に支障が出ないよう努めていく。

以上